



発行所
 太平山頂上鎮座
 太平山三吉神社総本宮
 宮司 田村 泰教
 秋田市広面字赤沼3の2
 電話 (018) 834-3443
 F A X (018) 834-3444
<http://www.miyoshi.or.jp>



梵天祭案内号

太平山頂上から望むご来光

宮司 田村 泰教

RNAワクチン開発の功績でノーベル生理学・医学賞に輝いたカタリン・カリコ氏は、異色の経歴でも注目を集めた。▽母国ハンガリーで研究費を打ち切られ、現金を娘のぬいぐるみに隠して三十歳の時に家族で渡米。所属を転々とし、冷遇されても研究に打ち込み続けた上、ご令嬢を五輪金メダリストにまで育て上げた。▽「パンデミックで自分が有名になるよりも、流行が起これば無名のままでいることを選ぶ」「真に称えられるべきは、新型コロナウイルスと最前線で向き合っている医療従事者や、こんな時でも仕事を休めないエッセンシャルワーカー・私は研究や実験に没頭し、好きなことを続けてきただけ」受賞後の謙虚な発言に氏の実直な人柄が滲み出る。▽逆境を乗り越える強靱な精神力や、人類の危機を救うほどの成果をもたらした弛まぬ努力。到底真似できることではなく、只々頭が下がるばかりだ。▽それでもこのような心持ちの方が尽力を続けた先に、光明が降り注ぐということは、子ども達や若者にとつての絶好の鑑。年を重ねた凡夫も、爪の垢を煎じて飲みたいと思う。

大きな天災や事故、紛争のない平穏で幸多い令和六年となりますように。皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

地元シリーズ

旅の楽しみ

神社協力会 小野 亨

仕事柄四十年以上旅を創り一緒に出掛けたりしましたが、いつだったのか、誰と行ったのか、何をしたのか記憶があいまいになってきました。

御朱印帳を振り返ると旅の余韻が一目がえります。日付があり、御朱印をいただいた場所が記されており。例えば、あるご朱印帳のページ目は田村宮司が直筆で書いてくださいました「太平山奥宮登拝 太平山三吉神社 平成二十九年八月一日」とあります。確か若月会長の誕生日を記念してのお祝い登山で大宴会になったこと。

次のページは「霊峰 月山神社 本宮」「奉拝 出羽三山神社 三神合祭殿」とあり、いずれも平成二十九年八月二十七日ですが湯殿山神社のみ平成廿九年八月廿七日と記されており。この時は夜明け前に自宅を出て日の出と同時に湯殿山から月山へ往復するつもりでしたが、有

料道路のゲートが八時にならないければ開かないことを知らず、月山を先に登りました。月山では山頂に神社があり五〇〇円を払わないと山頂に行けないこと、また、登山道を間違えてリフトの方へ行ってしまい、リフト代に届かない小銭しか持つておらず無賃で乗せていただいたことなどの記憶がよみがえります。

困った御朱印もあります。栃木県にあります古峯神社での御参拝は三〇分もあれば済みますが、御朱印に天狗の絵を書いてくださるため順番待ちで滞在時間は最低一時間位必要です。書いてくださる神職により絵柄も違います。一人の方の御朱印がなかなか出来なく、帰りの列車がヒヤヒヤものでした。

明治神宮でいただいた平成三十一年四月三十日と令和元年五月一日の御朱印は特に濃い思い出のひとつです。明治神宮でご朱印帳に平成最後の日付と令和最初の日付の両日いただき、

帝国ホテルで過ごし、深夜〇時に皇居前でカウントダウンして万歳をしようという企画です。

七名の方にお集まりいただきました。まずは羽田空港駅で年配の方々には切符ではなくSUICAの説明をして、購入していただきました。

納得のいかない方もいらっしゃいましたが、使っているうちに電車に乗るには便利なことをご理解いただきました。明治神宮は同じ発想をする方が非常に多く御朱印をいただくまでに日本一の大鳥居からの長蛇の列があり時間を要したこと。御朱印をいただいた後、サプライズで赤坂離宮迎賓館を見学したこと。この日の夕食は赤坂「グランビア」で生ハムを食べ、夜は雨が



かなり強くなり私の部屋でカウントダウン&万歳三唱をした思い出。この旅のおかげで「平成最後の晚餐は生ハムです」と平成から令和になった時は帝国ホテルに滞在して万歳しました」と一同いつでもいえます。

旅には三つの楽しみ方があります。一つ目は旅行前のどこへ行こうか、何を着ていこうか、何を食べようかと妄想している楽しみ、次に旅本番の現実を離れる体験、最後にご朱印帳をめぐったり、写真を見てひとりでもやっとして酒の肴にして振り返る楽しみです。

御朱印は旅の整理にすごく役立ちます。御朱印帳を見ますとその地の匂い、味、音、景色そして触感などがよみがえります。旅は五感で楽しむものです。次の旅は話題の「じゃこ天」食べながら御朱印集めなんて洒落た旅はいかがですか。



言挙げ 83

新年を迎えるにあたり

権禰宜 和田 恵梨子



本年も残すところあと半月とな

りました。皆様は年末の大掃除は順調に進んでいますか。

これから急いで取り掛かるという方も多いのではないのでしょうか。毎年の恒例行事ですが、掃除の個所が多くて毎年頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。

最近では趣味で片付けの動画を視聴しています。私は閏年のように、数年に一度大規模に片付けをして物を減らし、数年経つと徐々に物が増えるという事を繰り返しています。最近では外出制限が始

まったコロナ禍に片付けを行いました。家で過ごす時間が増えたため、空いた時間を利用して部屋の片付けを行いました。多くの物を手放した結果、部屋はスッキリと片付けました。

最近になり友人の家の片付けを二回程手伝いました。お洒落な友人は素敵な服を沢山持っていました。長いこと手放せずに溜まり続けた約二十年分の洋服が、大きなタンスに目一杯入っていました。当初は洋服の処分に躊躇していたようですが、突如洋服の片付ける気分になり、夜から二人でのごそごと片付けを始めました。最初は執着心もあり手放すのに苦労していたよう

ですが、次第に決断が早くなっていきました。二回の片付けを通して手放した洋服は四五十リットルのごみ袋七袋以上にもなりました。後日片付けの感想を聞いたところ、何年も着ていなかった洋服や靴を手放したおかげで、部屋だけではなく心も非常にスッキリしたと話していました。空間に余裕ができたため、とても使い勝手が良くなったと喜んでいました。そして一緒に片付けを手伝った私も心地よい達成感を得ることができました。ちなみに手放した後悔した物は一つも無かったです。

友人の片付けに触発され、久しぶりに私も部屋の片付けをしました。手放す基準を決めて少しずつ物が減ると、部屋が整い、心が軽くなってきました。次に途中で作業を中断していた写真の整理を始めました。写真の整理は大変ですが、次第に当時の思い出

が蘇り、思いのほか楽しい作業となりました。昔の写真には、かつて若い頃にお世話になった方々が沢山写っていました。学生時代など若い頃は無我夢中で日々を過ごしており、お世話になった方に御恩返しができないまま時が過ぎていたことに気が付きました。またコロナ禍で疎遠となっていた友人知人の写真も沢山出てきました。慌ただしい日常を過ごしていると、あつという間に月日が過ぎてしまいますが、悔いなく過ごすのはとても難しいと感じました。

片付けによって部屋が整い、気持ちの整理ができました。年末の片付けは、長年溜め込んだ物を整理して、清々しい気持ちで新年を迎える絶好の機会です。この機会に、より一層掃除と片付けに力を入れて、清々しい令和六年を迎えましょう。

みよしスケッチ

秋季例大祭 十月十六日・十七日



七五三詣



人形感謝祭 十月一日

愛着のある人形に感謝を捧げ、お焚き上げ神事を行いました。



印章供養祭 十月一日

古くなった印鑑や表札を供養し、印章塚にお納めました。



奉納者ご芳名 (再掲載)

前号の記載に間違いがございました。謹んでお詫び申し上げますと共に、改めて掲載させて頂きます。

一、消石灰四十キログラム
北上石灰株式会社
代表取締役 多田 祥茂 殿

一、拝殿薄縁畳一式
アクアプランニング株式会社
代表取締役 高橋 一弘 殿





神宮大麻頒布始奉告祭
春祈禱打合せ
十一月十四日



三吉梵天祭打合せ会
十一月十五日
令和六年三吉梵天祭の打合せを行いました。



神社協力会打合せ
十一月十八日



自衛警備隊総会
十一月日



第十八回三吉節全国大会
九月十七日



村梵天奉納打合せ
十月二十八日

追悼

責任役員

進藤 金一 様

(十一月十二日帰幽 享年八十六歳)

太平洋写真生会実行委員長を長くお務め頂き、写真会の発展にご尽力頂きました。

また平成十九年からは責任役員として献身的にご奉仕頂き、太平山山頂火災の折には復興奉賛会をまとめ、参籠所再建と奥宮改築に主導的な役割をお果たし頂きました。

三吉節保存会会長

進藤 義声 様

(十月二十六日帰幽 享年八十九歳)

三十一年の永きにわたり、会長として梵天唄である三吉節の普及継承に務められ、当社への各県からの参拝の折には、秋田民謡をご披露頂きました。秋田県文化功労者。

厄年・年祝いのご案内

厄年のお祓いや還暦・古稀などの年祝いを迎えられた方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。(団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。)

令和6年 甲辰(きのえたつ) 厄年・年祝い一覧

	干支	男性	女性	年齢(かぞえ)
大正15年・昭和元年生	寅(とら)	白寿(はくじゅ)		99歳
昭和10年生	亥(いのしし)	卒寿(そつじゅ)		90歳
昭和12年生	丑(うし)	米寿(べいじゅ)		88歳
昭和20年生	酉(とり)	傘寿(さんじゅ)		80歳
昭和23年生	子(ねずみ)	喜寿(きじゅ)		77歳
昭和30年生	未(ひつじ)	古稀(こき)		70歳
昭和38年生	卯(うさぎ)	後厄		62歳
昭和39年生	辰(たつ)	還暦(かんれき 大厄)		61歳
昭和40年生	巳(へび)	前厄		60歳
昭和57年生	戌(いぬ)	後厄		43歳
昭和58年生	亥(いのしし)	大厄	厄	42歳
昭和59年生	子(ねずみ)	前厄		41歳
昭和62年生	卯(うさぎ)		後厄	38歳
昭和63年生	辰(たつ)	厄	大厄	37歳
昭和64年・平成元年生	巳(へび)		前厄	36歳
平成3年生	未(ひつじ)		後厄	34歳
平成4年生	申(さる)	厄	大厄	33歳
平成5年生	酉(とり)		前厄	32歳
平成11年生	卯(うさぎ)	後厄		26歳
平成12年生	辰(たつ)	大厄	厄	25歳
平成13年生	巳(へび)	前厄		24歳
平成17年生	酉(とり)		後厄	20歳
平成18年生(成人)	戌(いぬ)	厄	大厄	19歳
平成19年生	亥(いのしし)		前厄	18歳
平成24年生	辰(たつ)	十三参り		13歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず新年を迎えると一つ年をとります。



どんど祭

1月28日
(日)

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、或いは古い神札・お守りなどをお焚き上げいたします。当日ご都合のつかない方は、事前に古神札納所にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物・写真など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。

- 人形類は10月1日の人形感謝祭にお持ち下さい。
- 環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

令和6年 上半期主な祭典・行事予定

1月1日(月)	午前零時	歳旦祭	新年の始まりに国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月17日(水)	神事 午前6時	梵天祭	1年の無病息災と安泰を祈り、梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事(8頁参照)
	奉納 午前10時半~正午		
1月29日(月)	午前10時	どんと祭	古くなったお札やお守、お正月の縁起物などをお焚上げいたします(6頁参照)
2月3日(土)	午前10時	節分祭	季節の変わり目にあたり、身体健やかに、心穏やかに、過ごせますよう福豆をまき供えて除災招福を祈ります
2月11日(日)	午前9時	紀元祭	神武天皇建国の偉業を偲び、国の弥栄と世界の平和を祈念いたします
5月7日(火)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穡を始め家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(水)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月30日(日)	午後3時	夏越の大祓	一年の上半期締めくくりに、身に積もった罪けがれを祓い清めます

師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを祓い清め、心清々しく令和五年を迎え、穏やかな一年になることを祈ります。
ご多用とは存じますが、是非ご参列下さいますようお願い申し上げます。

記

一、日時 十二月三十一日(日) 午後二時
一、於 神社拝殿

○ご都合のつかない方は、形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。



※形代(かたしろ)は神社にございますので、必要な数をご連絡下さい。



負けるな
秋田!

秋田市赤沼

三吉
梵天
祭

ぼんでん

令和6年1月17日(水)

- 神事：午前6時～
- 奉納時間：午前10時30分～正午

※小さなお子さま全員にお守りを差し上げます。



子ども梵天奉納
1月13日(土)午前9時～10時

人に押し負け
大きらい

厳寒の一月、雪国の静寂を打ち破って、秋田の冬の風物詩「ぼんでん」が行われる。力の神・勝負の神を祀る太平山三吉神社の例祭に奉納される梵天は六十本あり。意匠をこらした梵天は、数十人の男たちを従え、雪の町を練った後、人に押し負け大きらいと三吉節も高らかに、法螺貝とシヨヤサの掛け声が勇ましく轟くなか、十余りの梵天が踊り乱れ、男たちは波となつて激しくもみ合う。一年の幸を願う熱い祭は、今年も一足早い春を呼ぶ。

